



This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

株式会社 富士メガネ (Fuji Optical Co., Ltd.)

Communication on Progress

2015 年度

*** 対象期間: 2015 年 1 月～2015 年 12 月まで**

連絡先

株式会社 富士メガネ 総務部 阿 部 美 樹(アベ ミキ)

Email: miki.abe@fujimegane.co.jp

電話: +81-11-222-2859

Fax: +81-11-231-7675

会社概要

会 社 名：株式会社 富 士 メガネ

本社所在地：〒060-0062 札幌市中央区南2条西1丁目3番地 北専ビル9階

従 業 員 数：542 名(2016 年 1 月 1 日現在)

正社員 455 名(男性 311 名、女性 144 名)

パート社員 87 名(男性 12 名、女性 75 名)(比率 16.1%)

事 業 内 容：メガネ、サングラス、補聴器、メガネ付属品等の販売及び修理

トップステイメント

弊社は2004年12月にグローバル・コンパクトに加盟しました。

グローバル・コンパクトで世界的に確立された10原則を支持し、企業活動を進めて参ります。

本年度の活動としては、UNHCRとのパートナーシップによる通算第33回海外難民視力支援活動をアゼルバイジャンで実施した他、弊社とUNHCRの協力関係30周年を記念して、2013年から10年間に亘り、総額100万米ドル(毎年10万米ドル)をUNHCRに寄付することを宣言し、2013年6月から寄付を開始。2015年にも6月20日「世界難民の日」に3回目の寄付を行いました。

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークのメンバーとしては、理事
企業としての加盟を継続、2013年5月に理事を拝命しました。



代表取締役会長・社長兼任 金井 昭雄

2016年3月18日

グローバル・コンパクト 10 原則

人権	企業は、 原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	企業は、 原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	企業は、 原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	企業は、 原則10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>人権教育 新入社員研修で1回実施</p>	◎	<p>新入社員研修に加え、全店営業研修会で1回実施</p>
<p>UNHCR との連携による海外難民視力支援活動の実施(1回) 於: アゼルバイジャン共和国</p>	◎	<p>同国で国内避難民・難民を対象に同規模で実施(継続)</p>
<p>UNHCR との協力関係 30 年を記念し、 毎年 10 万米ドルを 10 年間(総額 100 万米ドル)の寄付を宣言、3 回目の寄付を実施 * 世界の難民の教育、女性の自立など支援</p>	◎	<p>2013 年から 2022 年迄の 10 年間に亘って毎年実施(6 月 20 日、「世界難民の日」に国連 UNHCR 協会を通じて送金) 4 回目</p>
<p>全社における「国連難民」募金活動 全社総額を送金(年 1 回、10 月): 9 回目</p>	◎	<p>継続的に実施(10 回目)</p>
<p>全社で UNHCR 広報ポスター掲示、全店で啓蒙 DVD 放映</p>	◎	<p>継続的に実施</p>
<p>海外難民視力支援・眼鏡寄贈活動事例紹介 社外講演(6 回実施)</p>	◎	<p>要請に応じ、継続実施</p>

<p>北海道の盲導犬育成募金への協力(本社含む)72箇所 に募金箱(「ミーナの募金箱」)を設置、全社総額を送金 (年1回、1月):4回目</p> <p>国連 UNHCR 協会の要請を受け、ネパール大地震緊急 支援に対し UNHCR に 10,000 米ドルを寄付(国連 UNHCR 協会へ送金)(5月8日)</p>	<p>◎</p> <p>○</p>	<p>継続的に実施(5回目)</p> <p>状況に応じ検討</p>
---	-------------------	-----------------------------------

労働基準分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>出産・育児・介護支援 出産・育児休業制度取得支援 実数 8 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>育児時間短縮勤務制度取得支援 実数 4 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>子の看護制度、介護制度取得支援 取得者なし(対象者なし)</p> <p>有給休暇取得奨励 有休取得のべ人数 (人数:昨年比 9 名増、101.5%) 有休取得日数 (昨年比 133 日増、110.2%) ※有給休暇全日数は昨年から 267 日(約 1.5%増) 取得日数は全休暇日数の 7.8% (昨年から 0.6%増)</p> <p>時間単位有給休暇取得奨励 176 名取得(昨年比のべ 17 名増、110.7%) 672 時間(昨年比 87 時間増、114.9%)</p>	<p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">◎</p>	<p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>必要に応じ、取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>全体の有給休暇使用日数が前年同数以上になるよう奨励</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p>

<p>その他 長期療養から復職後の時間短縮勤務 2名(希望対象者の100%)</p>	<p>◎</p>	<p>該当者の有無により対応継続。職場環境整備を継続</p>
--	----------	--------------------------------

環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>地球温暖化の防止</p> <p>イオンモール旭川駅前店の移転に伴い、照明器具をLEDに交換。年間のCO2排出量を74%(試算値20,995kg)削減</p> <p>岩見沢駅前店の移転に伴い、照明器具をLEDに交換。年間CO2排出量を85%(試算値2,629kg)削減</p> <p>自転車共同利用サービス「ポロクル」専用の駐輪場(サイクルポート)設置に協力。設置期間(2015年5月1日～10月31日)のポート利用回数:2,510回</p> <p>社有車(11台中)1台(最も走行距離が長い用途で使用する車)のクリーン・ディーゼル車を維持</p> <p>社内報を電子化。紙の年間使用量522kgを削減 年間CO2排出量を846Kg削減</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>店舗移転時、看板照明器具修繕・交換時及び随時、省エネ効果、CO2削減効果の高い照明器具への交換を積極的に推進する</p> <p>*2015年末現在、68店舗中、22店舗で照明器具をLEDに交換(2014年末から2店舗増)</p> <p>*2016年1月以降の実施予定店舗:未定</p> <p>円山店駐車場敷地内にサービス期間内(冬季除く)設置協力、継続</p> <p>都度、見直し・検討</p> <p>2016年以降も継続</p>

腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>社員行動における腐敗防止の徹底 「公務員、取引先との贈答接待等は、法令や社会通念に逸脱して行わない」を役員、全店長、社員を対象に都度徹底、指導</p>	○	<p>引き続き、役員・社員教育の継続、告知を徹底する</p>

このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のウェブサイトに掲載する